

第2回目以降の会議の公開について

- ・ 遺族の意向について

9月26日(月)14:00~14:30

教育長、事務局職員が遺族宅を訪問し、母親に事務局案を説明し、会議の公開の是非についての考え方を聞く。

できれば全て非公開にしてほしいが家族で相談するとのこと。

9月28日(水)9:10~9:13

母親から市事務局に電話連絡あり。

相談した結果、やはり全て非公開にしてほしいとのこと。

- ・ 会議の公開についての事務局案

- ・ 事実究明、原因究明部分の議論については、非公開にしたい。

(理由)

事故関係者の事情聴取や関係資料の調査をするにあたり、児童、保護者はじめ多数の人物の情報が出てくることになるが、その方らに対する今後の社会的影響力を考えるとマイナス面が大きいと考えられる。

関係者の事情聴取の際には、関係者は自分のことは勿論他の人物の今後の影響力までを考慮し、話すことになるのでもし公開するとすれば事実を話しづらい状況になってしまう。

事実を究明するためには、非公開にした方がより正しいことが分かったと考えられるため。

- ・ 今後の事故防止対策の議論については、公開する方向で考えている。

(理由)

二度と事故が起こらないための建設的な議論になると考えられ、他の保護者、市民らも今後の市の姿勢に注目しており、より開かれた議論とする方が望ましいから。

市のホームページ上では、事故の再発防止のための市民の意見を募集していく予定。その意見も参考としながらの議論になると考えられる。

- ・ 委員会開催後、速やかに議事次第、議事の概要について、市のホームページ上で公開していく。

- ・ 議事録については、おおよそ3,4週間後には、市の情報公開コーナーで閲覧できるようにする。

- ・ 課題

会議の資料をどの部分まで公開していくか。

議事録を市のホームページ上でも公開すべきか。